

授業科目名 科目コード	経営学（Business Administration） 2036011-064				担当教員	栗井 英大 （クリイ ヒデヒロ）			
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	必修科目	単位 数	4	配当年次	1年次	開講期	前期②
科目特性	資格対応科目／知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要

本講義は、経営学の初学者が、経営学に関する基礎的な概念や知識を習得できるように組み立てている。企業経営の基本的な知識の中から、前半は、企業システム・経営戦略などを、後半は、経営組織・経営管理・経営課題などを取り上げる。具体的な事例を取り上げつつ、経営学の基礎的な理論を可能な限り分かりやすく説明する。なお、経営学検定試験初級に対応するため、検定公式テキストに沿って授業を進める。

本講義の目標は、企業システム・経営戦略・経営組織・経営管理・経営課題など、経営に関する基礎的・専門的な用語・知識・技術を習得することである。

また、経営学検定（マネジメント検定）初級レベルの知識を習得することを目指す。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

2 職業人として通用する能力／3 専門的知識・技能を活用する能力を養う。

③ 授業の進め方・指示事項

講義は、パワーポイントを活用し講義を行い、書き込み式の配付資料の空欄を学生自ら埋めていく方法で進める。また、講義冒頭では、記憶の再生、定着を促すために、前回講義の復習を行う。

正当な理由のない遅刻・途中退席は認めない。

日々の社会的な出来事も積極的に取り上げるほか、学生の意見を取り入れつつ、講義を進める。そのため、授業内容が変更となる場合がある。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

以後学習する、経営コース関連科目の基礎となる科目である。

⑤ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安

(i) 企業システムを理解・説明することができる。

(ii) 経営戦略を理解・説明することができる。

(iii) 経営組織を理解・説明することができる。

(iv) 経営管理を理解・説明することができる。

(v) 経営課題を理解・説明することができる。

⑥ テキスト（教科書）
経営能力開発センター編（2015）『経営学検定試験公式テキスト 1 経営学の基本』中央経済社 （購入時点における最新版を入手すること） また、授業開始時にレジュメを配布する。
⑦ 参考図書・指定図書
井原久光（2008）『テキスト経営学—基礎から最新の理論まで』ミネルヴァ書房

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 企業システムの理解・説明	企業システムに関して、資料等に頼らず説明でき、授業内容を超えた学修成果を示している	企業システムに関して、資料等に頼らず説明できる	企業システムに関して、資料等を見ながら説明できる	企業システムに関して、資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	企業システムに関して、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
(ii) 経営戦略の理解・説明	経営戦略に関して、資料等に頼らず説明でき、授業内容を超えた学修成果を示している	経営戦略に関して、資料等に頼らず説明できる	経営戦略に関して、資料等を見ながら説明できる	経営戦略に関して、資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	経営戦略に関して、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
(iii) 経営組織の理解・説明	経営戦略に関して、資料等に頼らず説明でき、授業内容を超えた学修成果を示している	経営戦略に関して、資料等に頼らず説明できる	経営戦略に関して、資料等を見ながら説明できる	経営戦略に関して、資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	経営戦略に関して、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
(iv) 経営管理の理解・説明	経営管理に関して、資料等に頼らず説明でき、授業内容を超えた学修成果を示している	経営管理に関して、資料等に頼らず説明できる	経営管理に関して、資料等を見ながら説明できる	経営管理に関して、資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	経営管理に関して、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない

(v) 経営課題の理解・説明	経営課題に関して、資料等に頼らず説明でき、授業内容を超えた学修成果を示している	経営課題に関して、資料等に頼らず説明できる	経営課題に関して、資料等を見ながら説明できる	経営課題に関して、資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	経営課題に関して、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
----------------	---	-----------------------	------------------------	--------------------------------------	------------------------------------

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	60%		10%	25%		5%		100%
(i) 企業システムの理解・説明	12%		2%	5%		1%		20%
(ii) 経営戦略の理解・説明	12%		2%	5%		1%		20%
(iii) 経営組織の理解・説明	12%		2%	5%		1%		20%
(iv) 経営管理の理解・説明	12%		2%	5%		1%		20%
(v) 経営課題の理解・説明	12%		2%	5%		1%		20%
フィードバックの方法	初回講義内で、成績評価の方法・基準、講義の進め方等について、具体的に説明するので、出席すること。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
学生の理解度・適性を確認しながら、運営していく。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	講義ガイダンス	講義の復習 株式会社の予習	90分
2	株式会社とは、経営の4要素	講義の復習 テキスト p 11～20 の予習	90分
3	会社の種類と利益計算	講義の復習 新卒採用の予習	90分
4	コンビニ経営と新卒採用	講義の復習 雇用・賃金、テキスト p129～131 の予習	90分

5	雇用・賃金	講義の復習 テキスト p210～215 の予習	90 分
6	動機づけ理論	講義の復習 テキスト p 216～224 の予習	90 分
7	リーダーシップ論	講義の復習 テキスト p 82～90 の予習	90 分
8	全社戦略と経営理念	講義の復習 テキスト p 91～95、118～120 の予習	90 分
9	内部環境分析	講義の復習 テキスト p 101～107 の予習	90 分
10	外部環境分析と SWOT 分析	講義の復習 テキスト p 89～90、p 110～118 の予習	90 分
11	ファイブフォースと競争戦略	講義の復習 テキスト p 73～75、95～100 の予習	90 分
12	製品・市場ミックス、製品ライフサイクル、PPM	講義の復習 コトラーの「競争地位戦略」の予習	90 分
13	コトラーの 4 分類	講義の復習 テキスト p 235～256 の予習	90 分
14	経営計画と PDCA	講義の復習 中間試験に向けた準備学習	90 分
15	中間試験	中間試験の復習 テキスト p 55～60 の予習	90 分
16	中間試験のフィードバック 日本型経営の特徴	講義の復習 テキスト p 61～65 の予習	90 分
17	日本型経営の変化	講義の復習 テキスト p 6～9、154～161 の予習	90 分
18	経営組織の基本形態	講義の復習 テキスト p 164～173 の予習	90 分
19	企業組織の諸形態①	講義の復習 テキスト p 173～182 の予習	90 分
20	企業組織の諸形態②	講義の復習 テキスト p 22～29 の予習	90 分
21	企業文化、企業統治	講義の復習 テキスト p 33～44 の予習	90 分
22	会社機関（株主総会・取締役会・監査役会）	講義の復習 テキスト p 44～48 の予習	90 分

23	コーポレートガバナンスの強化（取締役会改革・委員会組織）	講義の復習 テキスト 260～263 の予習	90 分
24	M&A とその目的	講義の復習 テキスト p 264～271 の予習	90 分
25	M&A の手法と買収防衛策	講義の復習 テキスト p 274～284 の予習	90 分
26	経営のグローバリゼーション	講義の復習 テキスト p 286～ p 295 の予習	90 分
27	企業経営と情報化	講義の復習 テキスト p 297～ p 308 の予習	90 分
28	企業の社会的責任（CSR）と企業倫理	講義の復習 テキスト p 309～ p 321 の予習	90 分
29	環境経営と環境ビジネス	講義の復習 期末試験に向けた準備学習	90 分
30	SDGs 講義のまとめ	講義の復習 期末試験に向けた準備学習	90 分

⑫ アクティブラーニングについて	
<p>知識定着・確認型 AL を採用する。毎回講義中に課題・問題を出すことにより、インプット型の講義に加えて、学生の知識のアウトプットも重視し、知識の定着を目指す。</p> <p>前回講義中に受け付けた質問・感想、及び宿題の内容について、講義中にフィードバックを行うことで、理解度を高めていく。</p>	

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	
平成 15（2003）年 3 月～平成 24（2012）年 6 月まで、(財)新潟経済社会リサーチセンターに在籍。研究員として、業界動向等の調査分析・レポート作成業務に従事した。	
実務経験と授業科目との関連性	
様々な業種のレポート作成に携わった経験を生かし、企業経営について、優良企業を中心とした具体的な企業の事例紹介等を交えつつ、分かりやすく説明する	